

1. 今日の実習は今後役立ちそうですか?

とても	65 (91.55 %)
まあまあ	6 (8.45 %)
少し	0
全然	0

2. 今日の実習内容の比率は適切ですか?

このぐらいの比率でちょうどいい	62 (87.32 %)
正常異常心音をもっと聞きたい	5 (7.04 %)
もっと症例検討の比率が多いほうがよい	4 (5.63 %)

3. 聴診で聞き分ける自信はつきましたか?

	I 音 II 音	II 音の 呼吸性 分裂	III 音	IV 音	大動脈弁 狭窄症	僧帽弁 閉鎖 不全症	大動脈弁 閉鎖 不全症	僧帽弁 狭窄症	動脈管 開存症
自信 あり	34 (47.89 %)	14 (19.72 %)	13 (18.31 %)	12 (16.90 %)	43 (60.56 %)	46 (64.79 %)	47 (66.20 %)	44 (61.97 %)	27 (38.03 %)
たぶん	33 (46.48 %)	37 (52.11 %)	42 (59.15 %)	43 (60.56 %)	27 (38.03 %)	24 (33.80 %)	24 (33.80 %)	26 (36.62 %)	36 (50.70 %)
自信 なし	3 (4.23 %)	20 (28.17 %)	16 (22.54 %)	15 (21.13 %)	0	1 (1.41 %)	0	1 (1.41 %)	8 (11.27 %)

4. 実習後の循環器内科に対する興味は?

非常に増	18 (25.35 %)
増	52 (73.24 %)
減	1 (1.41 %)
非常に減	0

5. 本日の実習に対する感想・要望についてお聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> ・脈を触れながら聴診することで少し聞き分けられるようになりました。 ・脈を測りながら聞くということを知り、そうするととてもわかりやすく感動しました。 ・弁膜症を分類して教えてくださって整理できました。 ・お忙しい中、ご指導いただきありがとうございます。収縮期雑音と拡張期雑音の見分け方や最強点や Levine 分類について学べて良かったです。 ・橈骨動脈の拍動や聴診部位による I 音 II 音の聞き分け方を教えてくださり、苦手を克服できました。最後 AS と MR 合併の心音を出題され、当たり前のことですが異常な病態は1つとは限らないことに気づかされました。ありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生に分かりやすく解説していただけて良かったです。 ・聴診所見の述べ方も教えていただけて良かったです。 ・実際の症例の心音が聴けてよかったです。 ・音を聞き分けるのが非常に難しかったです。頭の中では拡張期、収縮期など理解しているのですが、I 音と II 音の聞き分けが難しく苦戦しました。 ・2 音の分裂、3 音、4 音についても聞きたかったです。 ・聴診を練習する機会はなかなかないので大変良い勉強になった。できれば実習時間そのものがもう少し長いとより自信を持って診断できるようになるのではないかと思います。 ・音を聞き分けるのが非常に難しかったです。頭の中では拡張期、収縮期など理解しているのですが、I 音と II 音の聞き分けが難しく苦戦しました。
--	--

6. 今後の課題・目標は?

<ul style="list-style-type: none"> ・実際の患者で、異常音を聞いてみたい。 ・弁膜症についてきちんと聞き分けられるようにする。 ・それぞれの病態をより把握して音と結びつけたいです。 ・実際の現場で聴診をする際に、異常心音があるかどうかを見分けられるようになりたい。 ・もう少し自信を持って判断できるようになりたいです。 ・聞き分けるのが難しいので今後できるようになりたいと思います。 ・聴診して疾患を迷わずに答えられるようになる。 ・物怖じせず聴診できるようになる。 ・病気が複合しているときに聞き分けられるようになりたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・橈骨動脈の拍動がなくても、I 音 II 音の聞き分け、弁膜症の心音が百発百中でわかるようになりたい。Lavigne 分類も意識して聴診できるようになりたい。 ・AS,AR,MS,MR 以外も自信を持って聞き分けられるようにしたい。 ・聞き分けに自信がないので、もう少し練習して収縮期・拡張期雑音を聞き分けられるようになりたいです。 ・異常な音だよ と伝えられてから疾患名を当てることはできそうですが、実臨床で正常な音と区別できるか異常に不安です。 ・まずは経験症例数を増やして自信を持って聴診できるようになることだと思う。
--	--

血液内科・循環器内科(CV) n=68

診療科内訳: 血液内科 38 名 (55.88 %)、循環器内科 30 名 (44.12 %)

1. 予習はしてきましたか？

全然	17 (25.00 %)
少し	37 (54.41 %)
十分に	14 (20.59 %)

2. 実際に中心静脈穿刺手技を見たことがありますか？

はい	15 (22.06 %)
いいえ	53 (77.94 %)

3. 本日の自分は 100 点満点中何点でしたか？

最高	平均	最低
100	70.625	0

4. 本実習の感想は？

非常に良い	50 (73.53 %)
良い	17 (25.00 %)
悪い	0
非常に悪い	0

5. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください。

<ul style="list-style-type: none"> ・侵襲的な手技を直接指導していただけるのはありがたいと思いました。 ・柴田先生にとっても丁寧にご指導していただき、大変勉強になりました。 ・エコーを用いた CV カテーテル挿入を行った。CV カテーテルに伴う合併症を理由とともに丁寧に教えていただいた。非常に学びの多い実習であった。 ・鎖骨下 CV カテの動画が、YouTube 等であまり上がっておらず十分に予習することができませんでした。しかしはじめに先生がデモをして下さったので、なんとか流れを掴んでから自分で手を動かすことができました。使う物品が多くて手順が混同してしまいそうなので、何度も練習して迷わずできるようにになりたいです。 ・近くに肺があり、合併症に気をつけながらしないといけないのが難しかった。 ・合併症による死亡事故が過去 10 年で 40 件ほどあったことに驚いた。 ・エコーを用いた CV カテーテル挿入を行った。CV カテーテルに伴う合併症を理由とともに丁寧に教えていただいた。非常に学びの多い実習であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CV は個人的に 1 番手順の多い手技だと感じました。それぞれの意味を理解して行うことが重要だと感じました。 ・手順が多くて難しかったです。 ・手順や気をつけるべきことがわかりためになりました。 ・手順が多く大変でしたが、その分やり甲斐のある手技でした。手技に精一杯で清潔操作に配慮出来なかったのが、次はそこを意識して行きたいです。 ・説明して下さったので分かりやすかったです。難しかったです。困っている時に教えてくださり、よく分かりました。 ・どちらの手をどのように使ったらいいかを考えるのが難しかったです。左手がブレてしまって、時間が掛かりました。 ・今回は人形だったので清潔操作とかで失敗しても、今のはなかったこととしてやり直せるけど、実際はそういったことはできないので、細心の注意を払わなければならないと難しく感じました。 ・見るように推奨された動画と受けた説明の手順が少し違ったので、少しややこしかったです。当日、実際に先生がやりながら説明して下さった手順が 1 番分かりやすく、理解しやすかったです。 ・解剖学的知識をもっと付けたいとおもいました。
---	---

6. 実習後の血液内科・循環器内科に対する興味は？

非常に増	23 (33.82 %)
増	41 (60.29 %)
減	2 (2.94 %)
非常に減	1 (1.47 %)

7. 本実習で手技に対する「見る」姿勢を理解し、実践できましたか？

よくできた	32 (47.06 %)
できた	34 (50.00 %)
できなかった	1 (1.47 %)
忘れていた	0

8. 本日の実習でできるようになったこと(2 回目場合は前回よりできたこと)は？

<ul style="list-style-type: none"> ・清潔操作、手順の理解。 ・死に至るような重大な合併症を起こさないように、一つ一つの動作に意味があり、それを理解することができるようになりました。 ・中心静脈穿刺の出順を理解した。それぞれの手順をなぜ行うか、気をつけるべきポイントを学習した。 ・以前は全く手順を覚えられませんでした。今回はスムーズにできました。 ・穿刺する位置を理解できた。 ・スムーズに手技を進められるよう、器具をどこに置いておくか意識すること。 ・穿刺のしかた、物品を使う手順を理解できた。 ・素早く手技を行うための準備。 ・手際よく手技をするための事前準備の大切さを学んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・針の穿刺する位置や一つ一つの動作の行動を理解できるようになった。 ・CV の手技の手順や穿刺角度、器具の扱い方について理解しながら行うことができるようになりました。 ・鎖骨下静脈の走行と、静脈カテーテルのリスクを理解することができました。カテーテルは一見簡単そうに見えますが、血が固まらないようにヘパリンを注入する、空気が血管に入らないように生食を入れるなど様々なポイントがあることを学びました。 ・試験穿刺の際に陰圧をかけながら逆血がないか確認すること。 ・針の種類を少し理解できるようになった。 ・手袋の付け方の復習ができて、また逆血の確認の仕方を学びました。
--	--

9. 次回の実習(1 回目の場合)・今後の課題と目標は？

<ul style="list-style-type: none">・1つ1つの手順の意味を考えながら手技を行い、スムーズに動けるようにする。清潔操作を徹底する。・手順がわからなくなりがちなので繰り返し練習したい。・もっと清潔を意識して、すばやくできるようになりたいです。・穿刺に時間をかけないよう、あらかじめ準備しておくこと。陰圧がかかる容器での液体の吸引方法を理解しておくこと。・今回不十分であった患者への声かけを意識して取り組む。・麻酔のタイミングを忘れやすい。	<ul style="list-style-type: none">・シミュレーターを用いていたので本番の緊張感や予想外のことに対応できるくらいの余裕は全くないので、一つ一つの手技がスムーズにできるようにしたいです。・実際の患者で行った場合は、より患者への配慮が必要だと思うので出血に注意して行えるようになりたいです。・もっとスムーズにCVをできるようになること。今回間違えた手順を間違えないようにすること。今度は止血も含めて実践すること。・解剖学的知識をより身につける必要があると感じた。
---	--

10. 2回目の実習の時のみお答えください。前回よりもレベルアップしましたか？

<ul style="list-style-type: none">・1 回目は手順を覚えるだけで精一杯だったので、2 回目は注意点を意識しながら行えてレベルアップしたと思います。・鎖骨下動脈と手順が少し違いました。エコーなどを見ながらだったので、1 回目と比べてやりやすかったです。合併症などもたくさんあり、患者さんを死なせてしまう可能性のある手技なので、きちんと理解し、逆血など注意すべきポイントをきちんと確認して CV を行うように注意しようと思います。	<ul style="list-style-type: none">・穿刺の角度は改善できた。・完全にレベルアップしました。何度も経験させていただけて感謝です。・少しだけレベルアップできたかと思います。・清潔手技については前回のほうができていたので、復習したい。
---	--

呼吸器内科(聴診)【実習前】 n=90

1. 聴診で聞き分ける自信はありますか？

	fine-crackles	coarse-crackles	wheeze	rhonchi
たぶん	40 (44.44 %)	41 (45.56 %)	37 (41.11 %)	27 (30.00 %)
自信がある	7 (7.78 %)	6 (6.67 %)	14 (15.56 %)	4 (4.44 %)
自信がない	43 (47.78 %)	43 (47.78 %)	39 (43.33 %)	58 (64.44 %)

呼吸器内科(聴診)【実習後】 n=85

1. 本実習の感想は？

非常に良い	80 (94.12 %)
良い	5 (5.88 %)
悪い	0
非常に悪い	0

2. 聴診で聞き分ける自信はつきましたか？

	fine-crackles	coarse-crackles	wheeze	rhonchi
たぶん	40 (47.06 %)	41 (48.24 %)	10 (11.76 %)	9 (10.59 %)
自信がある	43 (50.59 %)	38 (44.71 %)	75 (88.24 %)	73 (85.88 %)
自信がない	2 (2.35 %)	6 (7.06 %)	0	3 (3.53 %)

3. 今日の実習はこれからの回診で役立ちそうですか？

とても	84 (98.82 %)
まあまあ	1 (1.18 %)
あまり	0
全然	0

4. 本実習で改善すべきと思う点があれば、お聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。(多数) ・とても分かり易く教えてください、ありがとうございます。 ・ひと通り全員で聞いた後、テスト形式で聴診をして所見を言うことがとても勉強になりました。 ・聴診のポイントが分かりやすく、聴診に対応する疾患をあげて下さったのが勉強になりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・wheezes の聴診で、どの領域に聴取するかがもう少し詳しくしりたかったです。 ・もう少しテスト形式で症例問題を聞きたかった。 ・自由に機械を操作して練習できる時間が少し短かったように感じた。 ・座学+実技の実習で非常に勉強になりました。
---	--

5. 実習後の呼吸器内科に対する興味は？

非常に増	18 (21.18 %)
増	67 (78.82 %)
減	0
非常に減	0

6. 今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> ・現場でも落ち着いて聴診したいです。 ・患者さんの診断がついていない段階でも聞き分けられるようになりたいです。 ・どの異常音がどの疾患の時に起こるのか全部把握する。 ・水泡音と捻髪音を聞き分けられるようにする。 ・fine crackles と coarse crackles の聞き分けが難しいと感じました。実際の患者さんで出来るようになりたいです。 ・呼吸器得意になろうと思います。興味があります。多くのことを学べるよう頑張ります。 ・肺野を聞き分けられるようにすることです。 ・気管支の細かな分岐について覚えることです。 ・咄嗟に聞いて何の疾患か想定できるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何の疾患で、どの音が聞こえるのかを結びつけて聴診出来るように知識をつけたいと思います。実際に聴診する際は、患者さんに失礼のないように礼儀正しく診察に臨めるようにしたいです。 ・聴診の場所、順番を考えて行うこと。 ・左右、肺野の聴き分けが難しかったので、聴き分けできるようにしたいです。 ・先生が体系立てて質問形式で講義してくださったので、とてもわかりやすく、自分の抜けているところが明らかになってありがたい授業でした。 ・聴取できる部位を、自信持って指せるように、焦らず1呼吸以上聴きたいと思います。
--	---

呼吸器内科(聴診)【回診後】 n=58

1. 回診で実際の患者さんから聴取できましたか？

	fine-crackles	coarse-crackles	wheeze	rhonchi
聴取できた	33 (56.90 %)	20 (34.48 %)	19 (32.76 %)	17 (29.31 %)
たぶん	14 (24.14 %)	11 (18.97 %)	7 (12.07 %)	7 (12.07 %)
機会なし	9 (15.52 %)	26 (44.83 %)	31 (53.45 %)	34 (58.62 %)
聴取できなかった	2 (3.45 %)	1 (1.72 %)	1 (1.72 %)	0

2. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> ・勉強になりました。(多数) ・分かりやすく、勉強になりました。 ・回診で患者さんの実際の呼吸音を聞かせていただいていたので良かったです。 ・呼吸音の見分けをできるようになった。心音をつけてはやっていないので、実際に患者にやる時は注意が必要。 ・coarse と fine の違いがよくわかった。 ・weeze や rhonchi も実際に聴いてみたかった。 ・実際の患者さんを診察すると少し焦るので落ち着いて聞くのが難しいと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の呼吸音を聞くことができて非常に勉強になった。中々はっきりと聞こえず、判断に困ることがたくさんあった。経験を積まなければいけないと感じた。 ・実際の患者で正しく聴診を行うことが難しく、シミュレーターとは完全に異なるのだと感じた。実臨床で使えるスキルとなるように訓練を積みたい。 ・呼吸器は特に視診と聴診が役立つ科であることを、回診を通して感じました。fine crackles の呼吸音を実際に聴診させていただいて、勉強になりました。他の呼吸音についても学べる機会がありましたら幸いです。
---	---

呼吸器内科(気管支鏡) n=67

1. 実際に気管支鏡検査を見たことがありますか？

はい	45 (67.16 %)
いいえ	22 (32.84 %)

2. 本日の気管支鏡実習の自己評価は 100 点満点中何点でしたか？

最高	平均	最低
100	77.8689	50

3. 気管支鏡実習の感想は？

非常に良い	50 (74.63 %)
良い	17 (25.37 %)
悪い	0
非常に悪い	0

4. 難しかったですか？

はい	42 (62.69 %)
いいえ	25 (37.31 %)

5. 「はい」の方、どんなところが難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> ・手首を捻って左右を合わせるのが難しかったです。 ・手首のみで向きを調整すること。 ・気管支壁に当たってしまったので、避けるのが難しいと感じました。 ・カメラがずれたら一瞬でどこにいるかわからなくなった。 ・どの分岐か判断するのが難しかったです。 ・思い通りに気管支鏡を操作できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思った方向に進んでいかないことも多くて難しいと思いました。B6 などそれぞれをしっかりと視野の中に入れるのが難しかったです。 ・気管に入れるまでが難しかったです。食道の方に進みそうになったり喉頭蓋を見失ったりしました。 ・常に画面の中央に進む方向を映し続けるのが難しかったです。
---	--

6. 本日の実習でできるようになったこと、感想・要望は？

<ul style="list-style-type: none"> ・気管支鏡をある程度扱えるようになりました。楽しかったです。 ・肺区域を説明できるようになった。 ・気管支の解剖を立体的に把握することができ、良い勉強になりました。 ・学生のときに気管支鏡を触れられたことがすごく良かったです。 ・気管支の番号がわかるようになり、位置関係も前よりはだいぶイメージできるようになりました。また、肺区域の位置も理解が深まったと思います。 ・大体の動作がわかりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気管支鏡の扱い方の基本をある程度できるようになった。気管支鏡で映し出される画像と実際の解剖を関連づけることができた。 ・気管支鏡の操作方法がわかりました。 ・抵抗を少なく進めることができました。 ・気管支鏡をスムーズに動かせるようになった。何番の気管支か意識しながらカメラを進めることができた。 ・気管支の解剖と走行について理解しました。 ・気管支の番号や肺の構造をざっくりとだが把握することができた。 ・肺区域体操です。
--	--

7. 今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> ・気管支鏡をするうえでまず解剖の知識が必要だと感じました。もっと勉強したいと思いました。 ・気管支壁に当てない。 ・気管支鏡検査を実際に見て何をしているのかがわかるようになりたい。 ・実際の患者さんでやってみたいです。 ・肺の構造や機能についてもっと知る必要があると感じました。 ・手際良くやりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後現場で気管支鏡を触る機会があったら、今回の経験を十分活かしてできるようにしたいです。 ・体を大きく動かして方向転換をしていたので、腕や手の小さな動きで目的地まで到達できるようになりたいです。 ・気管支鏡の上下を見失いがちだったので、スムーズに操作できるようにする。 ・画面の中央に進行方向が見えるように保てるようになる。 ・内視鏡に興味があるので、手技を磨き、もっと効率よく進めることができるようになりたいです。
---	---

8. 実習後の呼吸器内科に対する興味は？

非常に増	24 (35.82 %)
増	42 (62.69 %)
減	1 (1.49 %)
非常に減	0

9. 気管支鏡実習はこれから役に立ちそうですか？

とても	51 (76.12 %)
まあまあ	16 (23.88 %)
あまり	0
全然	0

10. 呼吸器内科で他にどんな実習を希望しますか？

<ul style="list-style-type: none"> ・満足しています、特にないです。(多数) ・呼吸機能検査を実際に見てみたいです。 ・スパイロメトリーを自分でもやってみたかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍などの組織を取ってくることや、出血部位を止血するなどの手技の実習をしたいと思いました。
--	--

呼吸器内科(吸引) n=69

	思う	だいたいそう思う	あまり思わない	思わない
1. 吸引の知識は深まりましたか？	55 (80 %)	14 (20 %)	0	0
2. 吸引の手技は理解できましたか？	53 (77 %)	16 (23 %)	0	0
3. 吸引の手技は習得できましたか？	43 (62 %)	25 (36 %)	1 (1 %)	0
4. 吸引実習はこれから役に立ちそうですか？	52 (75 %)	17 (25 %)	0	0
5. 今後必要な状況があれば実践したいですか？	56 (82 %)	11 (15 %)	2 (3 %)	0

6. 吸引実習についての感想・要望などお聞かせください。

<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい講義ありがとうございました。 ・実際の吸引の動画などがあればイメージしやすいと思いました。 ・面白かったです。楽しくできました。 ・実際に吸引する体験が出来たのがよかったです。 ・丁寧に教えていただき非常に勉強になりました。ありがとうございます。 ・自分しか病棟にいない時などに重要な手技だと感じました。要望は特にありません。 ・吸引のチューブにも色々あることを知りました。もし現場で吸引しなければならぬ時にどうすればいいかがわかりました ・いろいろな種類があることを知らなかったので勉強になりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・吸引に必要な知識は一通り学ぶことができたと思います。 ・看護師さんが吸引をしている印象が強かったです。研修医でもできた方がいいと思うので、手技や必要な状況を学べて良かったです。 ・看護師の業務である吸引も看護師さんがいない場合医師が行わないと生死にかかわるので、大切だと思いました。 ・分かりやすく、勉強になりました。 ・おそらく実施していません。 ・分かりやすく説明していただき、非常に興味深かったです。ありがとうございました。 ・貴重な実習ありがとうございました。 ・看護師さん目線の話が聞けて面白かったです。
---	---

小児科【実習前】 n=84

1. 小児診察に対するイメージを一言で表すと?

<ul style="list-style-type: none"> ・小児特有の間診所見や身体診察所見があつて難しい。 ・問診が取りにくく、多彩な症候を示すので鑑別が難しい。 ・身体診察の順番が難しい。 ・親と話ことが多い。 ・子供と親の両方と会話する。 ・本人から診断に必要な情報を引き出すことが難しそう。 ・子ども自身の訴えや保護者の話から、先天性疾患なども含めて網羅的に考えなければならぬため難しいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大声で泣き、暴れている小児からなんとか身体所見を取らないといけないういう大変なもの、というイメージがあります。 ・指示に従ってもらったり、患者さんの反応を見たり、コミュニケーションを取ったりという点で成人の診察よりも難しいイメージです。 ・小児に関するほぼ全身を診ることが必要。また、患者以外にもその家族にも深く寄り添っていく必要がある。 ・全ての臓器に注意してみる必要がある。子供は自分で訴えることができないので、問診が成人よりも重要。 ・小児診察は子供が泣き喚いてしまうなどで動いてしまい診察が難しい印象があります。前回小児の注射の実習においても、動かないように手を抑えることが大事だと学んだのですが、動いてしまつては危ないので侵襲的なものほど気をつけなければならないと思いました。
--	--

	2. 小児の間診をとる自信はありますか?	3. 小児の理学所見をとる自信はありますか?	4. こどもの急な発熱の後送の判断はできますか?	5. 今までに手背静脈採血を経験したことはありますか?	
たぶん	18 (21.43 %)	14 (16.67 %)	10 (11.90 %)	実際にある	40 (47.62 %)
自信がある	4 (4.76 %)	1 (1.19 %)	1 (1.19 %)	見学はある	12 (14.29 %)
自信がない	62 (73.81 %)	69 (82.14 %)	73 (86.90 %)	全くない	32 (38.10 %)

小児科【実習後】 n=83

	1. 小児の間診をとる自信はありますか?	2. 小児の理学所見をとる自信はありますか?	3. こどもの急な発熱の後送の判断はできますか?	4. 小児の手背静脈採血する自信は?
たぶん	41 (49.40 %)	50 (60.24 %)	47 (56.63 %)	28 (33.73 %)
自信がある	30 (36.14 %)	17 (20.48 %)	20 (24.10 %)	45 (54.22 %)
自信がない	9 (10.84 %)	13 (15.66 %)	12 (14.46 %)	7 (8.43 %)

5. 本実習の感想は?		6. 本実習の時間について		8. 実習後の小児科に対する興味は?	
非常に良い	61 (73.49 %)	ちょうどいい	75 (90.36 %)	非常に増	14 (16.87 %)
良い	19 (22.89 %)	短い	0	増	61 (73.49 %)
悪い	0	長い	5 (6.02 %)	減	5 (6.02 %)
非常に悪い	0			非常に減	0

7. 本実習で改善すべきと思う点があればお聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> ・採血はテストという形だったので難しいのかもしれませんが、フィードバックがあった後にもう一度やる機会があればより勉強になると思います。 ・手背静脈の採血をアドバイス後にもう一度見ていただけるとより自信がついたと思います 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児の診察する上での重要なポイントは教えていただきましたが、もっとこういうことを問診や身体所見を取つたらいいというアドバイスがほしかったです。 ・事前に勉強していけると、ふりかえりの時にもっとしっかりと内容に踏み込んだ話し合いができたかなと思いました。
--	--

9. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> ・オスキーと同じ形式での診察自体が初めてだったので緊張しましたが、聞くべき点と鑑別疾患、見逃してはいけない疾患を意識しながら診察を進めることが大切なのだと思つて実感しました。 ・自分がいかに小児における臨床推論能力がないかを痛感し、まさに知識があつても使えなくては意味がないと実感しました。QB など問題を解いて疾患を考えるだけでは絶対に学べない、実践の医学を学ぶことができました。ずっとこのような講義がしたかったです。ありがとうございました。 ・小児は、急変するかもしれないので 3 要素に注意して、入院などの対応をする必要があるのか、見分けるのが大事だと気づきました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小児特有の病気や、リスクの判断材料としての周産期歴、ワクチン接種歴などの成人とは重要度の異なる問診を知つた。泣き出す前に心音呼吸音などを聞く、という工夫の方法も学んだ。 ・鑑別では疾患を挙げるのではなく、病態を挙げるのだと認識しました。また、ぐったり感、呼吸様式といった見目で判断できることも重要だと知りました。 ・最初 2 時間はかなり長いと思つていましたが、終わってみるとあっという間でした。小児の診察は成人と同じところも違うところもあり、ロールプレイという形での実習はそれがすごく身につけやすいと思います。本当にありがとうございました。
--	--

10. 今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none">・臨床の現場では問診を取るだけでなく、まずその患者さんを返していいのか、入院してもらうのかの判断が重要になってくることを学んだので、OSCE 的な内容を強くするだけでなく、診察後どうするのかまで考えられるようになりたいです。・まずは小児のトリアージができるよう、いくつかのシナリオを繰り返し練習して思考過程を体で覚える。小児に頻度の高い疾患や周産期歴などのリスク因子を意識した問診、成人とは異なる身体所見、さらに筋道だった鑑別がさっとできるように何度も復習をする。・問診を網羅なくすること。周産期など大事な情報を聞いて、上級医にリスク説明をきちんとできること。・実際に問診を行ってみて、聞き漏らしが多かったように思います。また質問の仕方もう少し工夫すべきだと学びました。今回気づいた点を次回問診する際に改善できるようにしたいです。・前提として医学知識をしっかりと定着させる。そのうえで、患者さんを診るときは疾患で考えるのではなく病態で考えようと思います。・問診や身体診察で得た情報から鑑別疾患を思い浮かべられるように知識を増やすこと。	<ul style="list-style-type: none">・小児の疾患について整理し直そうと思います。疾患から病態を言えるようになるだけでなく、臨床で役立つように、病態から疾患を想起出来るように勉強しようと思います。また、所見を、医学的用語を用いて述べられるように勉強します。・これからは病名を当てに行くのではなく、患者さんの病態を把握できるように問診、診察できるようになりたいと思います。・どうしても成人に対する診察を考えてしまうので、小児と成人では全く異なることを頭に叩き込まなければならないと思った。特に病態に着目することを意識づけなければならないと思った。今後の目標は、帰すべきか入院させるべきかの判断はしっかりとできるようになること。・乳幼児と成人の問診・診察は異なることを意識していきたいです。出産週数などの乳幼児ならではの問診をしたり、尿量や便をオムツの交換回数で聞いたりといった工夫ができるようにしたいです。また採血では新生児の手を固定できるように持ち方を工夫し、さらに器具は乳幼児の近くに置かないことで安全に配慮したいです。・小児の問診は成人とは違うので難しかったです。小児の問診や身体診察ももっととれるようになりたいです。
--	--

11. 担当教官へ一言お願いします

<ul style="list-style-type: none">・分かりやすい講義をありがとうございました。問診や診察のポイント、なぜその事項が重要なのか、入院、外来の判断など具体的に実践的な講義だったので臨場感を感じる講義でした。とても勉強になりました。・小児の採血や発熱など感冒症状のある患者さんの診察など、臨床では多く経験するであろうことを学ぶことができた貴重な機会でした。この実習で学んだことを活かせるようにもって勉強していきたいです。ありがとうございました。・とても緊張感のある楽しい実習をありがとうございました。・分かりやすい解説ありがとうございました。初診外来実習でこの経験を活かしていけたらと思います。・国試、臨床の両面から多くのことを教えていただき、大変勉強になりました。ありがとうございました。・自分自身のいたらなさを自覚し、勉強意欲が掻き立てられました。臨床で役立つ貴重なレクチャーをありがとうございました。・熱心に指導して下さりありがとうございました。	<ul style="list-style-type: none">・2 週間お世話になりました。分かっていたことですが新生児から中学生くらいの体の割と大きい患者さんまで幅広い年齢を診る素敵な科だと思いましたが、もっと勉強が必要だと強く感じました。・2 週間ありがとうございました。新生児科では色々な実技をやらせていただき、とても充実した実習でした。小児について様々な臓器を診られるのが面白いなと思いました。今後診療科をまわった上で、また考えたいなと思います。ありがとうございました。・病気ではなく病態をみる、その意味を改めて理解できました。一対一ではなく、病態から整理する方が理解度も上がると思いました。ありがとうございました。・何をすると泣くのか、暴れるのかが分かりやすかったです。ありがとうございました。・医師役、評価者役をどちらも経験することができ、自分の反省点からも班員の様子からも多くのことを学ぶことができました。
--	---

1. お産に対するイメージを一言で表すと？

・感動 ・奇跡	・神秘的 ・聖域	・命がけ ・痛い	・大変 ・壮絶	・失敗が許されない ・感動の瞬間	・本人が大変な中、医者側もかなり注意するイメージ ・女性の中で最も大きなイベント
------------	-------------	-------------	------------	---------------------	---

2. お産を実際に見たことはありますか？

いいえ(0回)	19 (32.76 %)
1回	17 (29.31 %)
2~4回	19 (32.76 %)
5回以上	3 (5.17 %)

3. 本実習の感想は？

非常に良い	45 (77.59 %)
良い	11 (18.97 %)
悪い	0
非常に悪い	0

4. お産に対するイメージは変わりましたか？

はい	27 (46.55 %)
いいえ	29 (50.00 %)

5. 4で「はい」の方 どんな風になりましたか？

<ul style="list-style-type: none"> ・お産のメカニズムやリスクを知ることにより、今まで以上に神秘的に感じました。 ・吸引分娩は、吸引機で吸うと胎児が自然と出てくるものだと思っていましたが、この実習で、自分も全力で引っ張らなければ出てこないことがよくわかりました。 ・一度も見たことがなかったので、どんな流れでどんな評価を行っているのか全くイメージできていなかったのも、イメージがないところから具体的なイメージを持つことができるようになりました。 ・ポリクリ中にみた経膈分娩では、実際にどのように分娩を行っているかを見ることができなかったので、特に緊急の時など短い時間で多くのことを素早く判断しているのだなと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・患者だけでなく、医師や助産師、ご家族の方々が同じ目標を胸に一体となって協力し分娩を行う姿に非常に魅力を感じました。 ・内診の重要性がよくわかりました。昔から行っていたということも驚きました。 ・内診や触診で赤ちゃんの状態を見ることは難しいと思いました。 ・想像していた以上に過酷なものだとわかりました。 ・素人目線だったので、産科の知識が入り、医師目線になった。胎児と母体の状況を両方考えないといけないので、とても難しいことに思えた。 ・産婦人科志望なので、実際の患者さんで触診や内診を試みたいと思いました。
--	--

6. 今日の実習は今後役立ちそうですか？

かなり	50 (86.21 %)
まあまあ	6 (10.34 %)
あまり	0
全然	0

7. 実習後の産科に対する興味は？

非常に増	24 (41.38 %)
増	30 (51.72 %)
減	1 (1.72 %)
非常に減	0

8. 今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科志望なので、実際の患者さんで触診や内診を試みたいと思いました。 ・陣痛や胎児の徐脈に対して、自分で適切に評価して次に何をすべきかプランを立てることができるようになりたい。 ・知識をアウトプットする機会が少なかったので増やす。単語のみを知っている状態ではなく、実際に説明し使える知識を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お産の際に気をつけるべきこと、緊急帝王切開へ移行する時の判断基準など。 ・その時の状況を見て母体と胎児に分けて考える必要があると思った。 ・今日勉強不足だった点を見直すとともに、もっと臨床に沿った知識を勉強していきたいと思う。 ・基礎的な知識がまだまだ不足しているので頑張ります。
--	--

9. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> ・少人数実習で楽しかったです。シミュレーターもリアルで驚きました。胎児の回旋について良い復習になりました。また、医学用語での表現、その定義も丁寧に教えてくださり、理解が深まりました。 ・経膈分娩は見たことがないのですが、イメージが少しわかりました。患者さんには、お産が順調と言っている背景で、たくさんのお産を評価しているとわかりました。 ・医学的なことから、経済的な社会背景まで知ることができて、たくさん考えさせられました。医学にも限界があり、医療だけでなく、施設や制度などたくさんのお産が絡み合っていて、医療行為を行っているのだと感じ、とてもためになりました。 ・実技をしながら説明していただいたので理解しやすかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・帝王切開は4件見たものの、経膈分娩をまだ1回も見えていなかったのもイメージが全くつかないのですが、今回の実習で母体の骨盤の向きや構造、赤ちゃんの回旋の仕方や進み方を具体的に知ることが出来て、非常に勉強になりました。 ・実際にモデルで吸引分娩もさせていただいた際は、難しかったです。面白かったです。 ・吸引分娩をシミュレーションで行いましたが、想像以上に力が必要で一定の力で引っ張ることが難しかったです。実際の新生児に行くと想像すると少し恐怖心がありますが、しっかりシミュレーションで練習し、現場で活かしたいと思いました。
---	---

消化器外科・形成外科(縫合) n=59

診療科内訳: 消化器外科 45 (69.23 %) 形成外科 20 (30.77 %)

1. 今まで縫合したことがありますか? 2. 本日の実習はどんなことをしましたか?

はい	52 (80.00 %)	・真皮縫合	・単純縫合	・垂直マットレス縫合	・器械結紮の練習
いいえ	13 (20.00 %)	・表皮縫合	・埋没縫合	・水平マットレス縫合	・結び目の加減の調節

3. 本日の実習の感想は?

非常に良い	52 (80.00 %)
良い	12 (18.46 %)
悪い	0

4. 難しかったですか?

はい	45 (69.23 %)
いいえ	20 (30.77 %)

5. 4で「はい」の方 どのところが難しかったですか?

<ul style="list-style-type: none"> ・持針器の持ち替えが難しかったです。 ・綺麗な結び目を思う強さで締めること。 ・結びめの向きをそろえることが難しかったです。 ・表皮を貫かない、脂肪を縫わない。 ・層を合わせること。 ・針を鑷子で掴むのが難しかったです。 ・針のカーブと手首の使い方に慣れるのが難しかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紐が撓んでしまったり、糸の長さがバラバラになってしまったりしたから。 ・縫う高さを合わせるころ。 ・左右対称にすることが難しかった。 ・皮膚ギリギリに糸を通すこと。 ・垂直に糸をかけて、組織になるべくテンションをかけずに縫合すること。
--	--

6. 本日の実習でできるようになったこと(2回目の場合は前回よりできたこと)は?

<ul style="list-style-type: none"> ・器具の持ち方はもう間違えません。 ・どんな縫合がどの特徴があるかを理解しながら練習することができた。 ・ハサミの持ち方や、持針器の持ち方を学び、基本的な縫合ができるようになりました。 ・前回より早く縫えるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ショートテイルが長くないように糸を引っ張る方法を学んだ。 ・同じ高さから針を出すことができた。 ・器具を上手く扱えるようになった。 ・どんな縫合がどの特徴があるかを理解しながら練習することができた。
---	---

7. 次回の実習・今後の課題・目標は?

<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧にかつ結び目の向きを意識しながら結紮したい。 ・等間隔で綺麗に縫合できるように練習したいと思いました。 ・傷口に対して垂直に針をいれられるようになる。 ・縫合やらせてくださいくらい言えるようになる。 ・縫合のゆるみが起きないようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左右の幅を揃えたり高さを揃えたりして綺麗に仕上げられるようになりたい。 ・綺麗に層を合わせること。 ・ピンセットを鉛筆持ちで持つ癖を直したいです。 ・スムーズにできるようになりたい。
--	---

8. もっと縫合の練習をしたいですか?

はい	57 (87.69 %)
いいえ	8 (12.31 %)

9. 8で「はい」の方 どんな縫合がしたいですか?

・ドレーン留置の糸針の掛け方	・真皮縫合	・実際の患者さん
・いろんな糸の太さで行ってみたいです	・z 縫合	・今回の繰り返し
・マットレス縫合	・連続縫合	・実臨床で使う縫合

10. 2 回目の実習の時のみお答えください。11. 実習後の各科に対する興味は? 12. 今日の実習は今後役に立ちそうですか? 前回よりもレベルアップしましたか?

はい	37 (56.92 %)	非常に増	29 (44.62 %)	とても	53 (81.54 %)
いいえ	0	増	25 (38.46 %)	まあまあ	3 (4.62 %)
下がった	0	減	1 (1.54 %)	あまり	0
		非常に減	0	全然	0

13. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> ・とにかく楽しんで、とおっしゃっていただき、実際にとても楽しい実習になりました。結紮縫合はこれからも必要な技術なのでしっかり覚えておきたいです。 ・救急現場や研修医になった後にとても役に立つ実習だと感じました。 ・手術の際にやってみるかと言われたときにスムーズにできるようになりたいので、前もって練習する機会になりよかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生が一人ひとり見てくださりアドバイスをくださったので大変勉強になりました。また病院見学などについても少し教えてください、親近感が湧きました。 ・外科志望なのでこのような機会をできるだけ増やしていただきたいです。 ・縫合の仕方は、細かいところで人によって違いがあって、人それぞれの工夫があり、それを教えてくださいるのがとても良かったです。 ・理論的に教えてください、縫合の仕組みがよくわかった。
--	---

14. 本実習で改善すべき点があれば、お教えてください。

・特になし(多数) ・縫合する皮膚のシミュレーターがボロボロなので新調してほしいです。

15. 消化器外科、形成外科で他にどんな実習を希望しますか？

・特になし。(多数)
・手での糸結びの仕方
・実際の皮膚に近いもので縫合してみたい。
・手術のシミュレーションなどができればしたいなと感じました。
・食道や胸膜を実際に触ったりしてみたいです。

・皮膚以外に腸などの多臓器を縫合する際に注意すべきことについて学びたいと思いました。
・縫合の練習をもう少し増やしていただけると外科に対するイメージも着きやすいと思う。
・縫合実習だけで十分ありがたいですが、他にも手術で使える技術があれば伝授していただきたいです。

消化器外科・肝胆膵外科・泌尿器科(鏡視下外科手技) n= 59

診療科内訳: 消化器外科 25 名 (42.37 %)、肝胆膵外科 12 名 (20.34 %)、泌尿器科 21 名 (35.59 %)

1. 担当医は熱心でしたか？

非常に熱心	33 (55.93 %)
熱心	24 (40.68 %)
熱心でない	0
全然	2 (3.39 %)

2. 指導は分かりやすかったですか？

非常にわかりやすい	45 (76.27 %)
わかりやすい	13 (22.03 %)
わかりにくい	0
非常にわかりにくい	1 (1.69 %)

3. 実習の進め方は？

非常に良い	42 (71.19 %)
良い	14 (23.73 %)
悪い	2 (3.39 %)
非常に悪い	1 (1.69 %)

4. 本実習の感想は？

非常に良い	41 (69.49 %)
良い	18 (30.51 %)
悪い	0
非常に悪い	0

5. 担当医の総合評価は 100 点満点中何点ですか？

最高	平均	最低
70	95.3	100

6. 本日の自分は 100 点満点中何点ですか？

最高	平均	最低
100	75.8	10

7. 本実習で改善すべき点があれば、お教えてください

- ・特になし。(多数)
- ・先生がなかなか来なかったのが時間を改善した方がいと思う。
- ・実習の時間がもう少し長いと良いと思った。

8. 実習後の各科に対する興味は？

非常に増	27 (45.76 %)
増	30 (50.85 %)
減	1 (1.69 %)
非常に減	0

9. 本日の実習でできるようになったこと(2回目場合は前回よりできたこと)は？

- ・初回は見よう見まねで行っていたが、2 回目は結紮する際に円を大きく描くことと、左手と右手を同時に移動させることが大切であることを意識しながら実践できた。
- ・鶴を少し折進められるようになりました。
- ・距離感がわかるようになった。スムーズに動かせるようになった。

- ・鏡視下手術の難しさを知ることができました。
- ・機械結びが上手くなった。
- ・細かい作業が少しできるようになった。
- ・1 回目よりはスムーズに穴に紐を通すことが出来た。
- ・手の細かな動きが少ししやすくなった。
- ・肩の力を抜いて行うことができた。

10. 次回の実習・今後の課題・目標は？

- ・制限された条件下で同様に手技が行えるように練習したいと思います。
- ・まだ操作に慣れなかったのが、スムーズに操作できるようになりたいです。
- ・ショートテールを短くする。

- ・糸を結ぶのをスムーズに行いたいです。
- ・力を抜いて姿勢をただす。
- ・機械縫合ができるようにしたいです。
- ・鶴を完成させる。
- ・折り鶴を折れるようになりたいです。

11. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください。

- ・初めて腹腔鏡の器具を触り、操作を行いました。思った以上に難しく色々苦戦しましたが、非常に面白かったです。
- ・難しかったけど面白かったです。非常に勉強になりました。
- ・実際に手を動かして、腹腔鏡の難しさや面白さを体験できてよかったです。より細かい作業(折り紙を折るなど)に関するコツを教えてくださいました。

- ・手術を見学しているだけではわからない難しさを、身をもって知ることができました。実際に触ることは初めてだったので、とても面白かったです。
- ・もっと長くやりたいです。
- ・もっと機会を増やすべきだと思います。
- ・先生が優しくわかりやすくありがとうございました。

12. 2回目の実習の時のみお答えください。前回よりもレベルアップしましたか？

かなりした	10 (16.95 %)
した	26 (44.07 %)
同じ	1 (1.69 %)
下がった	0

泌尿器科(持続的導尿) n=56

1. 実習中に持続的導尿を見学する機会がありましたか？

はい	51 (91.07 %)
いいえ	5 (8.93 %)

2. 実習中に持続的導尿を行う機会がありましたか？

はい	30 (53.57 %)
いいえ	26 (46.43 %)

3. 2で「はい」の方、どのような準備(自己学習)をされましたか？

・OSCE の復習をした。(多数)	・YouTube の動画をみました。
-------------------	--------------------

4. 2で「はい」の方、シミュレーターでの実習はこれから役に立ちそうですか？

とても	33 (58.93 %)
まあまあ	9 (16.07 %)
あまり	0
ぜんぜん	0

5. 2で「はい」の方、シミュレーターを使用してみて、何か新しい発見はありましたか？

<ul style="list-style-type: none"> ・清潔に気をつけなければすぐにどこか不潔になってしまう点。 ・手順を改めて確認することができた。 ・実際やるのとシミュレーターでやるのでは全然違うなと思いました。 ・実際の方のほうが圧倒的に入りやすいと思いました。 ・位置関係、解剖がわかりました 	<ul style="list-style-type: none"> ・患者さんに痛みが少ない方法などを教えていただきました。 ・たまたま男性に導尿を行う機会が少なかったので、いい練習になりました。 ・しっかり陰茎を牽引することが大切であることと、尿の逆流を確認するためにお腹を押す際は少し頭側に向かって押すことが大切であることを新たに学んだ。
---	---

6. 2で「いいえ」の方、シミュレーターでの実習はこれから役に立ちそうですか？

とても	23 (41.07 %)
まあまあ	7 (12.50 %)
あまり	0
ぜんぜん	0

7. 2で「いいえ」の方、今後、機会があれば持続的導尿を行いたいと思いますか？

とても	20 (35.71 %)
まあまあ	8 (14.29 %)
あまり	1 (1.79 %)
ぜんぜん	0

8. 感想、ご要望がありましたらご記入ください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。(多数) ・陰茎を牽引するとカテーテルが挿入しやすいと学びました。非常に勉強になりました。 ・実習中に尿道カテーテルを入れる機会が何度かあったので、シミュレーションで何度も練習できて良かったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・とてもタメになる実習でした。ありがとうございました。 ・これからも、手術見学や現場で腕を磨ければと思います。ありがとうございました。 ・どのようにすれば抵抗なくカテーテルを入れやすいか、分かりやすかったです。
---	---

肝胆膵内科【実習前】(打田) n=77

1. 腹部超音波検査の印象は？

<ul style="list-style-type: none"> ・簡便だがとても重要 ・経験値で大きく変わりそう ・何が何か判別が難しそう。 ・熟練が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・手っ取り早くできる検査という印象です。 ・色々な臓器を確認できる印象があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・侵襲性がなくて、患者さんの負担が少なく、そのわりには分かる事がおおい。 ・画像の解像度が CT など比べて低く、かなり慣れないと上手に使いこなせない印象がある。
--	--	--

2. 検査の経験回数は？

初めて	52 (67.53 %)
1 回	13 (16.88 %)
2-10 回	11 (14.29 %)
10 回以上	1 (1.30 %)

4. 臨床で行えそうですか？

行える	0
多分行える	16 (20.78 %)
たぶん行えない	27 (35.06 %)
行えない	34 (44.16 %)

3. エコーで抽出できる自信はありますか

	1) 肝臓	2) 胆のう	3) 膵臓	4) 腎臓	5) 脾臓
非常にある	1 (1.30 %)	0	0	1 (1.30 %)	0
ある	7 (9.09 %)	3 (3.90 %)	5 (6.49 %)	6 (7.79 %)	7 (9.09 %)
たぶん	23 (29.87 %)	16 (20.78 %)	13 (16.88 %)	17 (22.08 %)	17 (22.08 %)
ない	31 (40.26 %)	32 (41.56 %)	36 (46.75 %)	32 (41.56 %)	30 (38.96 %)
全くない	15 (19.48 %)	26 (33.77 %)	23 (29.87 %)	21 (27.27 %)	23 (29.87 %)

肝胆膵内科【実習後】(打田) n=69

1. 実習後の腹部超音波検査の印象は？

<ul style="list-style-type: none"> ・しっかり学んでから体験すると、臓器がとてもよく見えることに驚きました。 ・臓器の場所や抽出の仕方をしっかり覚えると、ちゃんと確認することができて驚きました。先生方は一瞬でエコーの検査をされているので、全て見逃すことなく検査しようと思うと、たくさん練習が必要なのがありました。 ・無秩序にプローベを動かしているのではなく、観察する臓器の順番が決まっているということが新たな学びでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・臓器の場所がわかっていて、描出するのはなかなか難しいと思いました。一回見失うと、見つけられなくなりました。FAST も教えてもらって、前よりもなぜその部分を描出するのかなどの病気を推定しているのかなどがわかりました。 ・臓器の位置をある程度自信をもって出せるようになったと思います。 ・決められた操作であらゆる疾患を見分けられて、ぜひ習得したいと思いました。
--	--

2. 臓器抽出の自信はありますか？

	1) 肝臓	2) 胆のう	3) 膵臓	4) 腎臓	5) 脾臓
非常にある	12 (17.39 %)	9 (13.04 %)	7 (10.14 %)	9 (13.04 %)	2 (2.90 %)
ある	35 (50.72 %)	29 (42.03 %)	20 (28.99 %)	35 (50.72 %)	32 (46.38 %)
たぶん	19 (27.54 %)	28 (40.58 %)	37 (53.62 %)	23 (33.33 %)	27 (39.13 %)
ない	3 (4.35 %)	3 (4.35 %)	5 (7.25 %)	2 (2.90 %)	2 (2.90 %)
全くない	0	0	0	0	0

3. 講習会の満足度は

100 点中何点ですか		
最高	平均	最低
100	93.462	0

4. プローベ走査と臓器位置の把握についての

理解度は 100 点中何点ですか？		
最高	平均	最低
100	79.1	50

5. 実習時間はいかがでしたか？

短い	3 (4.35%)
適切	64 (92.75%)
長い	2 (2.90%)

6. 実習のどのような点が役に立ちましたか？

<ul style="list-style-type: none"> ・超音波検査は侵襲性の低い大事な検査なので、しっかりと見方を学べて良かったです。 ・様々な臓器へのプローブの当て方を学ぶことが出来た ・先生が 1 人ずつアドバイスしてくださってわかりやすかったです。 ・前に見本を写していただけだったのでどのような像を目指せばいいかわかった ・実際の症例をいくつか提示していただけました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 映像資料を用意してくださっていて、リアルタイムで正しい位置と自分の位置を確認できたところ。 ・なぜその部分を描出するのか、なんの病気を想定しているのかなどを教えてもらいながらできてよかったです。 ・一人ひとりにエコーが当てられているので、心行くまで練習することができました。 ・解剖から丁寧に教えていただけのため、非常に理解しやすかったです。
---	--

7. 実習の難しかった、わかりにくかった点を教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。(多数) ・プローベの向きを考えるのが難しかったです ・ペースが早く、ついて行きづらかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・臓器の位置とプローブの場所、角度をイメージするのが難しく、しっかり復習しておこうと思いました。 ・綺麗に描写することが難しかった。
--	---

8. 今後追加したい点があれば教えてください

<ul style="list-style-type: none"> ・FASTについても実際に行ってみたかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正常所見と異常所見の違いをより知りたい。
--	---

9. その他、ご意見ご要望ご感想などをお聞かせください

<ul style="list-style-type: none"> ・YouTube の動画も見せていただいたのですがとても分かりやすかったです。 ・とてもわかりやすく、超音波の画像をみることに少し自信ができました。 ・救急のことも学べてとても満足しました。 ・面白かったので、班でまた練習しようと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の実習をこれからの腹部エコーの練習や、実際の患者さんにも活かせるようにしていきたいと感じました。 ・腹部超音波検査で解剖学的位置について勉強することができた。 ・非常に分かりやすく楽しい授業でした。
---	--

肝胆膵内科【実習前】(吉田) n=64

1. 超音波検査手技に対する現在のイメージを一言で表すと？

・難しい。 ・低侵襲だけど見慣れるまでは難しい検査。	・簡易だが難しい。実施者の技量による所が大きい。	・エコー画像を描出するのが難しい、画像を見て、正常異常を理解するのが難しい。 ・どんな方向で当てたらどんな図になるかイメージしにくい
-------------------------------	--------------------------	---

2. 今までプローブを持ったことはありますか？

OSCE の心エコーのみ	30 (46.88 %)
何度かある	32 (50.00 %)
なし	2 (3.13 %)

3. エコーで抽出できる自信はありますか

	1) 肝臓	2) 胆のう	3) 膵臓	4) 腎臓	5) 脾臓
たぶん	32 (50.00 %)	30 (46.88 %)	20 (31.25 %)	33 (51.56 %)	30 (46.88 %)
自信がある	12 (18.75 %)	6 (9.38 %)	5 (7.81 %)	10 (15.63 %)	7 (10.94 %)
自信がない	20 (31.25 %)	28 (43.75 %)	39 (60.94 %)	21 (32.81 %)	27 (42.19 %)

肝胆膵内科【実習後】(吉田) n=62

1. 本実習の感想は？

非常に良い	53 (85.48 %)
良い	8 (12.90 %)
悪い	0
非常に悪い	1 (1.61 %)

3. 本実習の時間について

ちょうどいい	61 (98.39 %)
短い	1 (1.61 %)
長い	0

5. 実習後の肝胆膵内科に対する興味は？

非常に増	27 (43.55 %)
増	35 (56.45 %)
減	0
非常に減	0

2. エコーで抽出できる自信はつきましたか？

	1) 肝臓	2) 胆のう	3) 膵臓	4) 腎臓	5) 脾臓
たぶん	27 (43.55 %)	40 (64.52 %)	42 (67.74 %)	24 (38.71 %)	36 (58.06 %)
自信がある	35 (56.45 %)	21 (33.87 %)	19 (30.65 %)	38 (61.29 %)	24 (38.71 %)
自信がない	0	1 (1.61 %)	1 (1.61 %)	0	1 (1.61 %)

4. 本実習で改善すべきと思う点があれば聞かせください

・女子もエコーをあてたいと思う人もいるので、パーテーションなどあればやりやすいのではないかと思います。 ・疾患編があれば勉強になるかなと思いました。

6. 本日の実習でできたこと・感想・要望は？

・シミュレーターと、班のメンバーでそれぞれの臓器を抽出することができたのでわかりやすかった。 ・腹部エコーをじっくり勉強するのは初めてだったのでとても勉強になりました。 ・実際にエコーを当ててみると模型とはぜんぜん違って難しかったです。でも模型で練習しているという何を見ているのかわかるようになったのでよかったです。	・エコーの画面と自分の手元がまだリンクしておらずイメージしづらいが、CT の断面図と比較しながら学習を進めると有効であることに気がついた。 ・実際に自分たちの身体を使って実習をすることで、本来の患者さんと同じような環境でエコーを練習することができた。 ・エコーで臓器を描出することができるようになりました。大変優しく丁寧に教えてくださり有意義な時間でした
--	---

7. 今後の課題・目標は？

・エコーを使って素早く描出できるように頑張ります。 ・もっと解剖の理解を深めてよりはやく見たい画像を出せるようにしたいです。 ・膵臓と脾臓の位置関係が曖昧であるため、しっかり抑えること。 ・個体差があっても確実に描出できるようにする。 ・向きを逆にしてしまうことが多いため、自分が出したいものを考えて当てる向きを決められるようにしたい。	・もっとたくさんの症例を見て正常と異常の区別を素早くできるようになること。 ・プローブの角度をもう少し練習したいです。 ・頭の中でのイメージと、描出したイメージを一致させる。 ・肝胆膵以外の臓器の描出をしっかりとできるようになること。 ・描出するだけでなく異常を見分けられるようになること。 ・自信を持ってエコー描出できるようになることです。
--	--

整形外科・神経内科(腰椎穿刺) n= 66

診療科内訳: 整形外科 45 名 (68.18 %)、神経内科 21 名 (31.82 %)

1. 実際に腰椎穿刺手技を見たことがありますか？		2. 本日の自分は 100 点満点中何点でしたか？			3. 本日の実習の感想は？		4. 難しかったですか？	
はい	29 (43.94 %)	最高	平均	最低	非常に良い	48 (72.73 %)	はい	44 (66.67 %)
いいえ	37 (56.06 %)	100	74.3167	30	良い	18 (27.27 %)	いいえ	22 (33.33 %)
					悪い	0		
					非常に悪い	0		

5. 4.で「はい」の方 どのところが難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> ・見えない深さを感じなければならないところ。 ・思っているところになかなか刺さらない。 ・針の角度や深さが難しく、スムーズに髄液採取ができなかったです。 ・脊髄の位置が分かりづらかった。また脊髄という特に体の中で重要な部分を触ることに恐怖があった。 ・硬膜に当たるという感覚が最初よく分かりませんでした。経験もないので骨に当たっているのではないかという疑念が拭いられませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔不潔を意識して、不潔にしないように手技を行うこと。 ・手順が多く清潔操作が必要だった。 ・髄腔内に穿刺するところ。 ・角度が垂直かどうかの判断。 ・実際に髄液をとる深さの見極め。 ・穿刺の場所、深さ、角度の調節が難しかった。 ・正確に椎骨を避けて穿刺するところが難しかった。 ・細かい動作が多くそれを覚えるのが少し難しかった。
--	---

6. 本日の実習でできるようになったこと(2回目の場合は前回よりできたこと)は？

<ul style="list-style-type: none"> ・清潔操作も含めてミスなく行えた。 ・清潔不清潔を守り手技ができました。 ・硬膜を貫く感覚をつかめた。 ・針先の感覚が上がったと思います。 ・正しい部位に到達した時の感覚の変化を感じた。 ・腰椎穿刺の使い方と腰椎穿刺した感覚を学びました！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・腰椎穿刺の使い方と腰椎穿刺した感覚を学びました！ ・黄色靭帯を貫く感覚がわかったこと。髄液を取ることができたこと。 ・体勢を変えることで簡単になる。 ・人に教えることでより成長できる。 ・人に説明できるようになった
--	--

7. 次回の実習・今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> ・1回で穿刺できるようにする。 ・手際よく行うこと。きちんと髄液に到達すること。 ・穿刺針をまっすぐに刺す。 ・初めての人に教えられるように知識や注意点を学び、手技を磨ければと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔操作の徹底。 ・手順を見ずに行う。 ・次回は声かけをもっとできるよう頑張りたいです。 ・よりスムーズに手技を行えるよう前もって器具の配置などを考えておく。
--	---

8. 2 回目の実習の時のみお答えください。

前回よりもレベルアップしましたか？

かなりした	15 (22.73 %)
した	15 (22.73 %)
同じ	4 (6.06 %)
下がった	0

9. 実習後の各科に対する興味は？

非常に増	27 (40.91 %)
増	34 (51.52 %)
減	0
非常に減	0

10. 今回の実習はこれから役に立ちそうですか？

とても	51 (77.27 %)
まあまあ	10 (15.15 %)
あまり	0
全然	0

11. 実習後の各科に対する興味は？

<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。(多数) ・実習時間がもう少し長いと良いと思った。 ・なんとなくできているのかな？と曖昧な手応えで終わってしまったようにも感じます。
--

12. 整形外科、神経内科で他にどんな実習を希望しますか？

<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。(多数) ・手術に関する実習。 	<ul style="list-style-type: none"> ・診察方法の実習 ・特徴的な画像がたくさん登場するイメージなので、画像診断について講義があれば良かったと思う。
--	--

整形外科(神経学的所見) n= 57

1. 実習前の段階で、神経診察に苦手意識はありましたか？

とても	39 (68.42 %)
まあまあ	17 (29.82 %)
少し	1 (1.75 %)
全然ない	0

2. 本実習は役に立ちそうですか？

とても	53 (92.98 %)
まあまあ	4 (7.02 %)
少し	0
全然ない	0

3. 実習の進め方は？

非常に良い	51 (89.47 %)
良い	6 (10.53 %)
悪い	0
非常に悪い	0

4. 実習後、神経診察に苦手意識はありますか？

とても	21 (36.84 %)
まあまあ	13 (22.81 %)
少し	20 (35.09 %)
全然ない	3 (5.26 %)

5. 神経診察を行う自信はつききましたか？

とても	23 (40.35 %)
まあまあ	29 (50.88 %)
少し	5 (8.77 %)
全然ない	0

6. 実習後の整形外科に対する興味は？

非常に増	32 (56.14 %)
増	25 (43.86 %)
減	0
非常に減	0

7. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください。

<ul style="list-style-type: none"> ・講義と実践の両方が行われ、時間を忘れて集中できました。 ・非常に分かりやすく、実践的な知識だと思いました。ご指導ありがとうございました。 ・お忙しい中ご指導いただきありがとうございました！！非常に分かりやすく、MMT 試験の正しい方法と判断の仕方を知れたとても勉強になりました。 ・とても分かりやすい実習で知識の整理ができました。ありがとうございました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に生徒同士やり合うことで、理解が深まった。 ・神経診察で得られる情報が多いと感じた。 ・神経診察に対して難しいイメージを持っていましたが、今回の実習でその苦手意識が少し和らぎました。しっかり復習して自分 1 人でできるようにしたいと思います。ありがとうございました。 ・神経学的診察を運動、感覚、自律神経と分けて考えたことがなかったためとても勉強になった。 ・実際に患者にも機会があれば診察していきたいです。
---	---

整形外科(関節鏡) n= 55

1. これまでに本手技を過去に見たことがありますか？

はい	16 (29.09 %)
いいえ	39 (70.91 %)

2. 難しかったですか？

はい	33 (60.00 %)
いいえ	22 (40.00 %)

3. 2.で「はい」と答えた方、具体的に難しかった点、改善点は？

<ul style="list-style-type: none"> ・見え方がこれまで見たことのないものだったので感覚がつかめず難しかったです。 ・実際に目で見るのとは画角が違い、難しかったです。 ・動かしたい方向に上手く動かせなかったから。また、視界が変化すると解剖学的にどこに存在するか分からなくなるため、解剖の知識も非常に重要だと感じた。 ・奥行きがわかりにくく、操作が難しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・肩関節の内部構造が複雑で分かりにくかった。 ・解剖から復習しなおさないといけないと思いました。 ・具体的な解剖の知識と照らし合わせながら行うことが難しかった。 ・手の動かし方、解剖知識が必要と感じた。 ・方向を変えたりするのが難しかった。 ・距離感をつかむのが難しかったです。
---	--

4. 本実習の感想は？

非常に良い	42 (76.36 %)
良い	13 (23.64 %)
悪い	0
非常に悪い	0

整形外科(ギプス) n= 57

1. これまでにご自身がギプス治療を受けた、または家族・友人が受けたのを間近で見たことはありますか？

はい	19 (33.33 %)
いいえ	38 (66.67 %)

2. 1.で「はい」の方、その感想・印象は？

<ul style="list-style-type: none"> ・ギプスを専用の機械で切ってもらった際、皮膚は切れないから大丈夫と言われていたが、いざ切るとなると少し怖かった印象がある。 ・頑丈そうなイメージ。 ・つけるのは一瞬で終わる印象でした。とる時にとても熱かった記憶があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中が痒かった。 ・日常生活が少し不便になるイメージ。 ・硬くてお風呂に入るのがめんどくさかった。 ・カットするのが怖い。 ・ギプスが硬くて手が動かさづらかった。 ・不自由そうだなという印象です。
---	---

3. 本日の実習の感想は？

非常に良い	46 (80.70 %)
良い	11 (19.30 %)
悪い	0
非常に悪い	0

4. 実習の進め方は？

非常に良い	45 (78.95 %)
良い	10 (17.54 %)
悪い	0
良い非常に悪い	1 (1.75 %)

5. 難しかったですか？

はい	32 (56.14 %)
いいえ	24 (42.11 %)

6. 5.で「はい」の方、どんなところが難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> ・ギプスを巻く際、親指が動きやすいように巻くのが難しかったです。 ・スピードが必要だったところ。 ・ちゃんと固定できるように巻く位置を考えながらギプスを巻いていくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・切断。 ・綺麗にまくのが難しかった。 ・どの方向にどう巻いていくかが難しかった。 ・ギプスを巻くのも難しかったです。また、ギプスを切るのも怖かったです。
--	--

7. 実習後の整形外科に対する興味は？

非常に増	28 (49.12 %)
増	27 (47.37 %)
減	1 (1.75 %)
非常に減	0

8. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください。

<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に教えていただけて分かりやすかったです。 ・自分でギプスを巻く/外す経験はなかったので、とてもおもしろかった。 ・救急外来で骨折した場合、ギプス固定をしなければならないと思うので手順についてしっかり学べて勉強になりました。 ・指の診断して頂きありがとうございました。 ・実際自分が試してみてもスピードが必要でとても難しい手技でした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めに動画を見て無知な状態で一度手技を行うことで、後で、先生が行う手技を見た時にどこに注目したらよいか明確になり理解が深かったです。 ・ギプス装着と取り外しを簡単に行うことができ、非常に面白く今後の為になる体験となりました。 ・2種類の固定方法を学びました。整形外科医でなくても、骨折の患者を見ることがあるので、本実習は必須です。
---	--

1. これまでに手術に参加して糸結びを行う機会がありましたか？

はい	37 (63.79 %)
いいえ	21 (36.21 %)

2. これまでに糸結びの方法を教えてもらう機会がありましたか？

はい	36 (62.07 %)
いいえ	22 (37.93 %)

3. 2で「はい」の方、具体的な科を教えてください

・心臓血管外科	・肝胆膵外科	・消化器外科	・形成外科
・皮膚科	・耳鼻咽喉科	・脳神経外科	・呼吸器外科

4. 難しかったですか？

はい	30 (51.72 %)
いいえ	28 (48.28%)

5. 4で「はい」と答えた方、どんなところが難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> ・様々な結び方があり、頭では覚えたが体では覚えきれていないためごちなくなりました。また、糸が緩んでしまうことも多かったから。 ・男結び、女結びの使い分け。 ・両手で糸を結ぶのが難しかったです。 ・先生の手順を見て理解し、全く同じように模倣すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1種類を覚えてもう1種類教えていただくと前の結び方を忘れてしまう。 ・手の動かし方が慣れるまでごちなく、結ぶのに時間がかかった。左右逆にして結ぶとさらに難しかった。 ・考え出すとこんがらがるところ。他の方法を学んだら、先に学んだものを忘れる。
---	--

6. 実習の進め方は？

非常に良い	46 (79.31 %)
良い	12 (20.69 %)
悪い	0
非常に悪い	0

7. 本実習の感想は？

非常に良い	48 (82.76 %)
良い	10 (17.24 %)
悪い	0
良い非常に悪い	0

8. 実習後の整形外科に対する興味は？

非常に増	35 (60.34 %)
増	23 (39.66 %)
減	0
非常に減	0

9. 本実習に対する感想・要望についてお聞かせください。

<ul style="list-style-type: none"> ・手術見学で糸結びを見て、どのように結ぶのか気になっていたもので、今回糸結びを学ぶことができてよかった。 ・なぜ、3~4回結紮するのか、またなぜ女結び男結びの順に行うのか理由を説明して下さり分かりやすかったです。説明全てが論理的で理解がしやすかったです。 ・糸結び難しかったですですが、できるようになると楽しかったです。 ・糸結びを理論的に理解することができました。分かりやすかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・。いままで糸結びの方法を学んだことはありますが、女結びや男結びなど深くまで理解していませんでした。今回学んだことを忘れないようにしっかり復習したいと思います。 ・本当に重要な本質を分かりやすく教えていただき、非常に勉強になりました。 ・丁寧に1ステップずつ教えていただき、外科の先生はすごいと思いました。 ・さすが玉井先生、説明がわかりやすすぎました。
---	--

10. 整形外科で他にどんな実習を希望しますか？

<ul style="list-style-type: none"> ・特になし(多数) ・基本的なテスト(前方引き出しなど)を班員同士でやり合ってみてみたかったです。 ・骨折なども見てみたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・針を使っての縫合練習もしてみたいです。 ・外来での処置見学などがあれば見学したいです。 ・リハビリに関して、実際にどのようなことを行っているか拝見したいです。
--	--

1. 予習はしてきましたか？

十分に	14 (22.95 %)
少し	42 (68.85 %)
全然	5 (8.20 %)

3. 本実習の感想は？

非常に良い	37 (60.66 %)
良い	24 (39.34 %)
悪い	0
非常に悪い	0

2. 本日の自分は 100 点満点中何点？

最高	平均	最低
100	80.8730	4

4. 難しかったですか？

はい	30 (49.18 %)
いいえ	31 (50.82 %)

5. 4.で「はい」の方、どんなところが難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> 各疾患において耳鏡で見られる所見。 耳鏡を用いて鼓膜を観察し、どの疾患か考えるのが難しかったです。 耳鏡の扱い方が難しかったです。 耳の中を除いたがあまり鮮明に見えず、難しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 耳鏡を用いた鼓膜の視診をする際に、教科書と少し異なる視野が見えると何の疾患かわからなくなってしまうことが難しかった。より疾患ごとの特徴を捉えた学習が必要だと思う。 耳鏡で覗いても、思っているよりは大きく見えないところ。典型的な鼓膜初見を十分に知っておかなければならないと思った。
---	--

6. 本日の実習でできたこと、分かったことは？

<ul style="list-style-type: none"> 各疾患での鼓膜の見え方の大まかな違い、耳鏡を組み立てて使う時と離して使う時。 中耳炎の種類を見分けることができました。一回見るとだいぶと覚えやすいので、これから耳鏡の問題とか解きやすくなる気がします。 教科書での画像と実際の見え方の違いを理解できました。 耳の疾患ごとの鼓膜の所見を見分けることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な耳鼻科診察の手順についてとても良い復習の機会を得たように感じる。 鼓膜穿孔や真珠腫などの代表的な疾患がどのように見えるかがわかった。 鼻出血に対して鼻にガーゼを 10 枚入れられるということに驚き、印象に残った。 疾患と耳の病変をリンクさせることができました。
---	---

7. 今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> 耳鏡で得られる画像所見を見てどんな疾患か想起できること。 模型でなくても適切に診ることができる。 耳の画像を見てどの疾患か当てられるようになる。 構造をよく理解すること 鼓膜の所見と疾患を覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> 患者さんに対して適切な声掛けができるようにする。 実際は耳垢なども溜まっていると思うので、どこが病変部なのか違いをしっかりと見分けられるようになりたいです。 病気に対する理解を深めて、見え方と病気の名前を対応させる。 各々の疾患に詳しくなりつつ、手技を安定させていきたいです。
--	---

8. 実習後の耳鼻科に対する興味は？

非常に増	22 (36.07 %)
増	38 (62.30 %)
減	0
非常に減	0

9. 今日の実習は今後役立ちそうですか？

とても	47 (77.05 %)
まあまあ	13 (21.31 %)
あまり	0
全然	0

10. 本実習で改善すべきと思う点があればお聞かせください。

・特になし。(多数)	・一つ一つの手技をもう少しじっくり体験したかった。	・もう少し時間が欲しい。
------------	---------------------------	--------------

11. 耳鼻科で他にどんな実習を希望しますか？

<ul style="list-style-type: none"> 今のままで十分良いと思います。(多数) 咽頭や喉頭の炎症などを実際に見てみたかったです。 オペで使う技術についての実習。 ネブライザーなど、国試問題で出てくるような一般的な器械なども見てみたかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> 内耳など、複雑な耳鼻科臓器の構造がなかなか掴めないままに手術見学となり、何が術野で行われているのかははっきりとは理解できないまま見学が終わってしまったように思う。可能であれば、外科に関する講義もあればより耳鼻科へのイメージがわきやすかったと思う。
--	---

12. 本実習に対する感想・フリーコメント

<ul style="list-style-type: none"> 分かりやすかったです。ありがとうございました。(多数) 先生方がご自身の耳を見せてくださったり、こまめに声掛けをしてくださったことで、非常に勉強になる実習をさせていただきました。ありがとうございました。 	<ul style="list-style-type: none"> 先生が答えをすぐに言わず、少しずつ誘導をかけて考えさせてくださったので、楽しかった。 実践的でとても楽しかったです。ありがとうございました。
--	---

耳鼻咽喉科(挿管・気切・咽頭ファイバー) n=60

1. 予習はしてきましたか？

十分に	17 (28.33 %)
少し	38 (63.33 %)
全然	5 (8.33 %)

2. 実際に挿管を見たことはありますか？

いいえ(0回)	14 (23.33 %)
1回	9 (15.00 %)
2~4回	24 (40.00 %)
5回以上	13 (21.67 %)

3. 本日の自分は100点満点中何点？

最高	平均	最低
100	78.96	0

4. 本実習の感想は？

非常に良い	44 (73.33 %)
良い	16 (26.67 %)
悪い	0
非常に悪い	0

5. 難しかったですか？

はい	31 (51.67 %)
いいえ	29 (48.33 %)

6. 5で「はい」の方、どんなところが難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> ・喉頭展開を行い、歯を折らないように確実に挿管することが難しかった。 ・奥を見つつ前歯を折らないようにするためにかなり強く自力で持ち上げなければならないところ。 ・様々な挿管の注意点に留意しながら安全に行うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気管切開を初めてしたが、切開部位や切開の大きさを決めるのが難しかった。 ・気管切開の位置。 ・気管切開の深さやチューブの挿入の加減が難しかったです。
--	---

7. 本日の実習でできたこと、分かったことは？

<ul style="list-style-type: none"> ・気管挿管のやり方がわかりました。これまで先生方は簡単そうにやられていましたが、かなり難しくリスクも高いものなのだとわかりました。 ・食道挿管や片肺挿管にならない深さの確認方法が目視や聴診など複数ある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気管切開を失敗すると、縦隔挿管などが起こってしまうことを、身をもって学んだ。 ・実際に切開するのは本当に勇気がいりそうです。 ・内視鏡を用いた喉頭、咽頭の診察や気管切開の方法や気管挿管の方法を知ることができました。
--	--

8. 今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> ・気管挿管で食道に入らないようにすること。 ・実際にはどのように行われているか毎回観察する。 ・挿管のスムーズさが救急の場面では求められると思うのでまずは一連の手順に慣れることから始めたい。 ・挿管できないと思ったら切開を考えられるくらいには手技をマスターする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の患者では歯が折れる可能性があるのでより注意しながら落ち着いて行えるように練習したいと思いました。 ・実際に自分が自信持てるように解剖学についてももう一度復習する。 ・臨床の現場では緊急を有することが多いので焦らず考えられるようにしたい。
--	--

9. 実習後の耳鼻科に対する興味は？

非常に増	29 (48.33 %)
増	29 (48.33 %)
減	1 (1.67 %)
非常に減	0

10. 今日の実習は今後役立ちそうですか？

とても	53 (88.33 %)
まあまあ	6 (10.00 %)
あまり	0
全然	0

11. 本実習で改善すべきと思う点があればお聞かせください。

・特になし。(多数)	・一つ一つの手技にもう少し時間をかけたい。	・気管切開、ハサミがもう一つ欲しいと思った。
------------	-----------------------	------------------------

12. 耳鼻科で他にどんな実習を希望しますか？

<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。(多数) ・鼻の構造。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚検査や眼振検査などの見学。 ・耳垢を取る実習や副鼻腔吸引。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オペで使う技術についての実習。 ・挿管についてはもう少し多めに練習したかった。
--	---	---

13. 本実習に対する感想・フリーコメント

<ul style="list-style-type: none"> ・挿管に関する基礎から難しい合併症まで詳しく教えて下さり、これからの勉強にとっても役立つものだと実感しました。 ・麻酔科のローテーションでも挿管は必要な手技なのでしっかり学ぶことができ勉強になりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に教えていただきありがとうございました。難しかったのでまた復習したいです。 ・講義だけではわかりにくい手順がよくわかりました。 ・迅速に挿管をして患者の急変対応できるよう頑張ります。
--	--

1. 実習の内容はどうでしたか？

良かった	12 (100.00%)
すこし良かった	0
どちらでもなかった	0
少し悪かった	0
悪かった	0

2. 内視鏡下生検の意義は理解できましたか？

理解できた	12 (100.00%)
少し理解できた	0
どちらでもなかった	0
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0

3. 内視鏡下生検の意義は理解できましたか？

理解できた	12 (100.00%)
少し理解できた	0
どちらでもなかった	0
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0

4. 内視鏡下生検(スコピスト側)で難しかったことを教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> ・カメラを思い通りに動かすこと。 ・うまく角度を調整するのが難しかった。 ・手首を回して、角度をつけるのが難しかったです。 ・どちらにひねればどう向くというのを感覚的にわかるのはまだまだ難しかったです。 ・カメラ操作が難しかったです 	<ul style="list-style-type: none"> ・生検の対象物を視野の中心に持ってきて維持するのが難しかったです。 ・病変を画面の中心に近づけ、安定して固定すること。 ・場所を把握すること。 ・画像の向きと位置関係の把握。
--	--

5. 内視鏡下生検(介助者側)で難しかったことを教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> ・鉗子を進め過ぎてしまうことがあった。 ・生検鉗子を広げるタイミングが難しかったです。 ・ガーゼを先端に付随させながら抜くのが最初難しかったです。 ・試料が飛び散らないようにしなければいけなかったところ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・抜きとる速さ。 ・力加減。 ・最後に引き抜く時が難しかった。 ・押さえながらぬくこと。 ・清潔操作。
---	---

6. 内視鏡下生検の実習の感想と、良かった点と改善した方がいい点を教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> ・とてもためになりました。 ・午前中に実際の内視鏡検査を見ていたので理解しやすかった。 ・実際に触れてみて、生検のイメージができました。簡単そうに見えて、難しいことがわかりました。 ・楽しかったです。 ・画像の見方もわかりやすく教えていただきとてもためになりました。講義が先でもよかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手首の向きだけで内視鏡の左右の向きを変えるなど、色々コツを教えていただけました。 ・良かった点は分かりやすく、最初に見本をみせていただいた点です。改善した方が良かった点はもう少し練習したかった点です。 ・もう少し触っていたかったです。 ・実際に触ることができて楽しかったです。十二指腸まで入る練習もやってみたかったです。
--	--

7. 直腸診の実習内容は どうでしたか？

良かった	12 (100.00%)
少し良かった	0
どちらでもなかった	0
少し悪かった	0
悪かった	0

8. 直腸診の意義は理解できましたか？

理解できた	12 (100.00%)
少し理解できた	0
どちらでもなかった	0
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0

9. 直腸診の注意点は理解できましたか？

理解できた	12 (100.00%)
少し理解できた	0
どちらでもなかった	0
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0

10. 医師になってから直腸診をできる自信ができましたか？

ついた	5 (41.67%)
少しついた	7 (58.33%)
どちらともいえない	0
あまりつかなかった	0
つかなかった	0

11. 10.で直腸診ができる自信が「少しついた」、「ついた」以外を選んだ方はその理由を教えてください。

回答なし

12. 直腸診で難しかったことを教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> ・検査の必要性の説明。 ・何時の方向という表現。 ・声かけ。 ・声掛けをしながら腫瘤を探るのが難しかった。 ・声かけのタイミングと腫瘍があった際のどの場所にあったかの把握が難しかった。 ・場所を表現するのが難しかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病変が何時の方向にあるのかの判断が少し難しかった。 ・前立腺が意外と奥にあって、触れるのが難しかったです。 ・しっかりと全周を触りつつ患者さんが不快感を感じていないか注意する必要があるところ。 ・意外と指が痛かった。 ・正確な場所を見つけること。 ・指をなかで回すこと。
--	---

13. 直腸診の実習の感想と良かった点と改善した方がいい点を教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> ・患者さんに検査の必要性和方法を事前にしっかり伝えておくことが必要だと思った。 ・直腸診の意義について丁寧に教えてくださって、直腸診の印象が変わった。 ・実際に何と声をかけるべきか教えていただけでよかった。 ・実際にやる時にしっかり声掛けして患者さんを安心させながらやる必要があることを再認識しました。ありがとうございました。 ・先生に細かく教えていただきわかりやすかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・良かった点は意義について説明してくださり、注意ポイントがわかりやすかった点です。改善した方が良かった点は特にはないです。 ・やり方を初めて習ったのでどういうところをポイントとして見ているかを知ることができた。 ・意義や気をつけなければいけないところが分かりました。位置や大きさ、性状などを言えるようになりたいです。 ・模型がよくできているので、本番のシミュレーションとしてとても良いと思った。
---	--

1. 実習の内容はどうでしたか？

良かった	17 (89.47 %)
すこし良かった	2 (10.53 %)
どちらでもなかった	0
少し悪かった	0
悪かった	0

2. 腹部診察に興味を持ちましたか？

興味を持った	14 (73.68 %)
少し興味を持った	5 (26.32 %)
どちらともいえない	0
あまり持てなかった	0
持てなかった	0

3. 興味を持った診察方法、その理由を教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> ・今までマフィー徴候の意味がいまいち、分かっていたんですけど、息を吸うと臓器に実際に触れる事を体験できて興味を持ちました。 ・振水音の聞き方など4年の時にできなかった身体診察をできるようになった。 ・OSCE 以外の項目もできるようになった。 ・腎臓の触診というのがあるのを初めて知った、殴打診の方法も教えていただいた。 ・反跳痛を確認する手技をできるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロブジグ徴候、振水音、波動の所見の取り方を学びました。 ・腹水、イレウスとかの診察。 ・疑う疾患と除外すべき疾患を意識しながら診察すること。 ・腎動脈の聴診など。 ・腹部診察の適切な方法と意義を学んだ。また、さまざまな症例問題を通して鑑別疾患を挙げることができるようになった。
---	---

4. 腹部診察のどのような点が難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> ・腹水の診察方法が少し難しかったです。 ・肥満の方などは診察するのが難しそうだと感じました。 ・鑑別診断の否定のために行わなければならない触診などがあること。 ・どういう反応で正常なのか異常なのかを覚えること。 ・疾患を想定しながら診察を行うこと。 ・異常とわかっていない状態で所見を見つけることが難しかったです。 ・鑑別疾患によってどの診察をするかしないかの選択が難しかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・患者さんの主訴に応じて鑑別診断を頭の中で挙げ、それらを除外していくという一連の流れが難しかったです。 ・症状から疾患を考えて、身体診察を考えるのが難しかったです。 ・肝臓の触診で違いを見極めることが難しかったです。 ・Murphy 徴候などの疾患特異的な徴候が陽性の場合には診断に近づくことができるけど、何も出てこなかった場合が難しいと感じました。 ・正確な場所を聞かないと音が聞こえない点。
---	---

5. この実習の感想と、良かった点と改善した方がよい点を教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な手技を学んだあとに症例問題でアウトプットできるのが良かったと思います。 ・最後の症例問題が面白いと思いました。 ・オスキーのいい復習になりました。 ・1人ずつ行うことで、他の人がしているのをみて繰り返し流れを復習することが出来たので良かったです。勉強になりました。ありがとうございました。 ・クイズ形式で楽しかった。 ・実際に症例が与えられて、行う診察を考える方式だったので、実際の臨床現場のように体験、考えることができて、非常に勉強になりました。 ・実際に模擬症例があったのが、実践的で良かったように感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・腹部診察の手技や意義についてわかりやすく教えていただき、非常に勉強になりました。最初に一通り解説していただいたため理解しやすかったです。ありがとうございました。 ・機械をうまく動かせなかったのでそこを使えたら良かったです。 ・M4 オスキー時の腹部診察について復習ができ、新たな診察方法についても学ぶことができ非常に勉強になりました。患者さんの前では不用意に触れないので、正常肝や慢性肝炎、肝硬変などの模型を通して、どのようなことに注意しながら触れば良いか学べて良かったです。腎臓の触診の模型も触ってみたいと思いました。お忙しい中、ご指導いただき誠にありがとうございました。
--	--

1. 予習はしてきましたか？

十分に	19 (27.14 %)
少し	46 (65.71 %)
全然	4 (5.71 %)

2. 実際に内視鏡検査を見たことはありますか？

はい	38 (54.29 %)
いいえ	32 (45.71 %)

3. 実習前の内視鏡に対する興味は100%中何%ですか？

最高	平均	最低
100	60.6923	0

4. 本日の自分は100点満点中何点でしたか？

最高	平均	最低
100	73.0769	30

5. 本実習の感想は？

非常に良い	55 (78.57 %)
良い	14 (20.00 %)
悪い	0
非常に悪い	0

6. 本日の実習でできるようになったことは？

<ul style="list-style-type: none"> ・内視鏡の進め方を学んだ。 ・内視鏡の操作方法が分かりました。非常に操作が難しかったです。 ・カメラ操作において自分の関節のどこを動かせば良いのかを少しずつ掴めたように感じる。 ・動かしたい方に動かす時の手の動き。 ・動かし方が少しわかってきました。面白かったです。 ・内視鏡を上下左右スムーズに動かすこと動かしたい方にまっすぐカメラを持っていくこと。 ・上部と下部の内視鏡の違いをしった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気管支鏡と消化管内視鏡の違いを理解した。 ・画面を見ながら、今臓器のどの部分を見ているのか意識できるようになりました。 ・内視鏡をどうやって使うかを学ぶことができた。また、消化器の内視鏡での見方を学んだ。 ・S状結腸を通れるようになった。 ・下部消化管内視鏡の扱いが上手になった。 ・方向転換のイメージを少し掴むことができました。 ・患者の視点に立つこと。 ・目標物をカメラの真ん中におさめること。
---	---

7. 実習後の内視鏡に対する興味は100%中何%ですか？

最高	平均	最低
100	80.7143	40

11. 本実習で改善すべきと思う点があればお聞かせください。

<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。(多数) ・内視鏡の挿入部分、胃カメラだと口のあたりと大腸カメラだと肛門部分の滑りがわかって動かしづらい時があったので、その滑りがよくなるとやりやすくなると思った。 ・実習の時間がもう少し長ければ良かったと思う。 ・直腸を越えるコツを教えてくださいたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内視鏡のカメラの動かし方について、先生をお手本として同時に後ろなどで操作しながら素振りができればいいなと思いました。 ・もっと時間がほしかったです。また、管腔臓器の模型が一部スケルトンで外から見えるようになっていて、カメラの向きが側から見てわかりやすいのになあと感じました。
---	---

放射線治療科(内照射) n=57

1. 一連の放射線治療科実習を受ける前の放射線治療に対する印象は？

よい	40 (70.18 %)
悪い	0
ない	17 (29.82 %)

2. 一連の放射線治療科実習を受けた後の放射線治療に対する印象は？

すごく興味がある	21 (36.84 %)
興味がある	31 (54.39 %)
興味がない	5 (8.77 %)
すごく興味がない	0

3. 「子宮頸がん放射線治療」の実習の難易度について

難しかった	5 (8.77 %)
難しい	10 (17.54 %)
ちょうどいい	40 (70.18 %)
簡単	0
簡単すぎる	0

4. 「子宮頸がん放射線治療」の実習の内容について

おもしろかった	57 (100.00 %)
つまらなかった	0

5. 「子宮頸がん放射線治療」の実習の分量について

多い	9 (15.79 %)
ちょうどいい	48 (84.21 %)
物足りない	0

6. 一連の放射線治療科実習を通じて感想、要望をお書きください。

<ul style="list-style-type: none"> ・実習前は放射線治療科に対してあまり印象はありませんでしたが、実習を通じて、想像していたより癌を根治できると学び非常に興味を持ちました。 ・放射線の講義を受けて、実際に治療計画に参加する実習が非常に興味深かった。 ・どういう科なのか知れて面白かったです。 ・放射線治療計画について実習で始めて学び、「腫瘍の治療効果」と「周囲臓器の損傷」のバランスを取りながら計画する過程が面白いと思いました。 ・癌に対する画期的な治療の一端に触れることができよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線治療を国家試験の選択肢として選んでも、実際にどのような流れで行われるかまではわからなかったのですが、どのようなことを行っているのかよく理解できました。 ・初めて実物の腔内照射の器械を見たので、興味が湧きました。放射線治療計画を立てる実習も、じっくり画像を見ることができると色塗りがゲーム感覚で非常に楽しかったです。 ・機械が発展しすぎていて、感動しました。今後もっとすごい機械が現れると思うとワクワクします。 ・実際に器具を用いて実習したのは初めてだったので、とてもいい経験になりました。
--	---

1.英語は

得意	5 (6.25 %)
普通	25 (31.25 %)
不得意	50 (62.50 %)

2.普段英語を使う機会はありますか？

はい	6 (7.50 %)
いいえ	74 (92.50 %)

3.2.で「はい」の方はどこで？

・子どもに教える ・レアジョブ ・バイトで	・英会話教室 ・オンライン英会話、 留学生と	・道で見るイケメンの外国人に喋りかける ・国際交流サークル ISAO に所属しているので、留学生の受け入れ等で話す機会があります。
-----------------------------	------------------------------	--

4.将来仕事で英語が必要だと思いますか？

はい	79 (98.75 %)
いいえ	1 (1.25 %)

5.将来海外で働きたいですか？

はい	17 (21.25 %)
いいえ	63 (78.75 %)

6.前半の学生同士の問診実習の難易度は？

簡単	4 (5.00 %)
ちょうど良い	64 (80.00 %)
難しい	12 (15.00 %)

7.後半の模擬患者さんに対しての問診実習の難易度は？

簡単	1 (1.25 %)
ちょうど良い	46 (57.50 %)
難しい	33 (41.25 %)

8. 英語だけでの実習はどうでしたか？

英語だけがよい	49 (61.25 %)
分からないときは 日本語も使いたい	30 (37.50 %)
全部日本語がいい	1 (1.25 %)

9.模擬患者さんに共感的な態度を示すことはできましたか？

はい (日本語の時と同じくらい)	20 (25.00 %)
少し	46 (57.50 %)
いいえ	13 (16.25 %)

10.本実習で英語に対する自信はつきましたか？

はい	42 (52.50 %)
いいえ	38 (47.50 %)

11. 本実習後の医学英語に対する興味は？

非常に増	25 (31.25 %)
増	54 (67.50 %)
減	1 (1.25 %)
非常に減	0

12. 模擬患者をして下さった留学生の先生にメッセージをお願いします。日本語でも OK !

・英語で問診をして非常に刺激的で勉強になりました。 ・英語で会話しないとイケない状況で、緊張感を味わえました。 ・何度も聞き直しても答えてくださり勉強になりました。 ・年齢が近く、話していてとても楽しかったです！	・何度聞き返しても答えてくださって、心が折れずに面接を続けることができました。 ・意外とジェスチャーでいけるとか、こんな表現では伝わらない、伝わるなどいろいろと感ずることができました。
---	---

13. 本実習の改善点や感想があればお願いします。

・英語で問診するならどう表現すればいいのだろうと時々考えたりしていましたが、今回の実習でそれを学ぶことができてよかった。 ・英語を喋れるようにならなければいけないと再確認できた良い実習でした。 ・はじめに簡単な講義があったので分かりやすかったです。 ・夏に留学に行く予定なのですが、自分がどれだけ英語ができないか実感できました。	・医学英語を使う機会がもっとあればいいと思いました。 ・近年、外国人患者が増えてきているので英語の重要性を感じていました。なので、実習で英語の問診方法を実践的に学べてとても良い時間になりました。このような実習を増やしていただくと嬉しいです。 ・医学に関する英単語などまだまだ知識の不足を痛感させられる内容であった。英語での医学学習の方法やアドバイスなどもらえる機会があればなお良かったと感じる。
---	---

1. 予習はしてきましたか？

十分に	9 (18.37 %)
少し	27 (55.10 %)
全然	11 (22.45 %)

2. 本日の自分は 100 点満点中何点？

100	90	80	70	60	50	40	30	20	10	0	平均
8	3	13	10	7	3	1	0	0	0	0	83.61
(16.33 %)	(6.12 %)	(26.53 %)	(20.41 %)	(14.29 %)	(6.12 %)	(2.04 %)					

3. 本実習の感想は？

非常に良い	34 (69.39 %)
良い	12 (24.49 %)
悪い	0
非常に悪い	0

4. 難しかったですか？

はい	14 (28.57 %)
いいえ	31 (63.27 %)

5. 4で「はい」の方、どんなところが難しかったですか？

<ul style="list-style-type: none"> ・久しぶりの手技で覚えていないことが多くて難しかったです。 ・手指消毒1つでも、正しい手順で行わなければ菌が残ってしまうので細心の注意を払う必要があることを学びました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意識していても事故で不潔になってしまうこともあるやろうなと思った。 ・个人防护服の着衣脱が難しかったです。
---	---

6. 本日の実習でできたこと、分かったことは？

<ul style="list-style-type: none"> ・ガウンの着方はあまり実践しないため、今回再度勉強することができてよかったです。3 回生の感染症手技のよい復習になりました。 ・筋肉注射は皮膚に対して直角に刺す、鼻咽頭拭いはまっすぐ刺す。 ・実際に病棟業務の中で、清潔にすべき部分がよくわかりました。また、病室の前に感染対策の方法が書いてると初めて知りました。 ・不潔になりうる動きを減らせた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・个人防护服を脱ぐ際は特に清潔に意識して、動作ひとつひとつに意味を持たせてやる必要があるとわかりました。 ・ガウン、マスクのつけ方について再確認できた。つける順番について理由も踏まえて理解できた。 ・手袋の取り方がこれまで間違っていたので、そこを正せました。 ・感染対策手技で注意すべき事項を学べ、どこに菌が残りにくいのかも知ることができました。 ・喉頭蓋炎についてわかることができました。
---	---

7. 今後の課題・目標は？

<ul style="list-style-type: none"> ・実際の現場でスムーズにできるように頑張ります。 ・医療関係者全体で感染対策を行えるような注意喚起や環境調整を行うこと。 ・後輩にも教えてあげたいです。 ・人に教えられるくらいになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手順を忘れない、手際良くできるようにする。 ・不潔になりそうな動きをしないこと。 ・適切な感染対策をして今後の院内実習を臨みたいです。 ・実際にガウンテクニックが必要となったときに、自分が感染を広げないように清潔・不潔に配慮して行うようにする。
---	--

8. 実習後の感染症に対する興味は？

非常に増	16 (32.65 %)
増	28 (57.14 %)
減	0
非常に減	0

9. 今日の実習は今後役立ちそうですか？

とても	37 (75.51 %)
まあまあ	7 (14.29 %)
あまり	0
全然	0

10. 本実習で改善すべきと思う点があればお聞かせください。

・特になし。(多数)

11. 本実習に対する感想・フリーコメント

<ul style="list-style-type: none"> ・勉強になりました。感染対策への意識が高まりました。 ・感染症にかかわる基本的な手技を短い時間でシンプルに学習できたと思います。全員に経験するチャンスがあるのもよかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡潔にわかりやすく教えていただき、また PPE の順番を、理由を含めて教えていただけだったのでよかったです。 ・病院には免疫能が特に落ちている患者さんがいらっしゃるの、細心の注意を払わなければならないと感じました。
--	---